

朗読座

K O N N O M I S A K O

茨木のり子 ～つま 夫を恋う詩～ うた

6/23 (土)

- 会 場 鶴岡市中央公民館 市民ホール
鶴岡市みどり町22-36
- 時 間 13:30 開演 13:00 開場
- 入場料 大人前売券 2,000 円 大人当日券 2,500 円
大学生まで 1,000 円
- チケット NHK 庄内文化センター, 鶴岡市内
有名書店, 清水屋プレイガイド 他
- 問い合わせ **0235-22-7297 (戸村)**



紺野 美沙子



中村 由利子
作曲家 / ピアニスト



愛川 聡
ギタリスト・作曲家

『紺野美沙子の朗読座』をお招きして

生あるもの全てが躍動する六月、このたび私たちは長年の夢であった『紺野美沙子による茨木のり子の詩の朗読』を実現することができました。

生活から生み出された深い思想を、易しい言葉でつづり続けた茨木のり子の世界が、優れた語りと音楽によって再現されます。みずみずしい表現と品格にみちた詩の言葉の一つひとつが、私たちの心を満たし、「遠くから懐かしい人が会いにきた」ような思いにさせてくれることでしょう。

このたびは、「六月の会」からのたつての願いで、詩集『歲月』の中の数篇を朗読していただけることになりました。40代で夫をなくし、「虎のように泣いた」という女性の限りない愛は、「紺野美沙子の朗読座」によって聴衆の胸

底まで沁みこんでいくはずです。選ばれし人に朗読されてこそ、静かな鎮魂と懐旧の詩句は、やがて生きることの美しさを私たちに教えてくれるに違いありません。

さつさつ
颯颯の
はつなつ
初夏の風よ（「問い」）

詩集『食卓に珈琲の匂い流れ』の最後におかれたこの言葉のように、茨木さんの詩には初夏の風の印象があります。六月の好日、ひとすじの風のように爽やかな詩の数々に、私たちは大いに酔うことにしましょう。

「茨木のり子 六月の会」代表 黒羽根 洋司

【紺野 美沙子さん】 女優

俳優。東京生まれ。1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」（原作・谷崎潤一郎）では三女・雪子役を好演。他に、「オットーと呼ばれる日本人」（作：木下順二）、「きんぎょの夢」（原作：向田邦子）、「日本の面影」（作：山田太一）など、硬軟を問わず意欲的に舞台に取り組んでいる。

テレビ・映画・舞台で活躍する一方、1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ・タンザニア・東ティモール他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。

著書に、親善大使として訪れた国や人々について綴った「ラララ親善大使」（小学館刊）がある。2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。音楽や影絵や映像など、様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスや、ドラマリーディングを全国各地で公演している。

詩集『歲月』
生前、その存在だけが
仄めかされていた夫
を恋う詩が収められた
「Y」と第する箱が、詩
人の死後見出された。
『歲月』は甥の宮崎治
さんがそれらの詩篇を
まとめ、二〇〇七年に
花神社より刊行された、
茨木のり子最後の詩集
である。

茨木のり子の詩集を手にとると、大好きだった伯母を思い出す。はっきりした目鼻立ち。知的でおおらかな雰囲気。大学の薬学部を出て自分の仕事を持ち続けたこと。子どもはなかったが、愛する夫に尽くして看取ったこと。

生きた時代も生活環境も重なって見え、どの作品にも親しみを覚える。女として齢を重ねるほど、その詩は深く私の心に沁みて大事な支えとなっている。

皆さんが「茨木のり子の世界」を感じ入っていただけるよう、心をこめて朗読します。

紺野 美沙子

【中村 由利子さん】 作曲家 / ピアニスト

ニューエイジミュージックの代表的な作曲家として幅広い層に支持され、TOKYO FM「ジェット ストリーム」のテーマ、宮崎駿監督による三鷹の森ジブリ美術館短編アニメーション「星をかった日」など、多方面への楽曲提供も行い、これまでに約2000曲を作曲し、40枚以上のアルバムをリリース。2017年にデビュー30周年を迎えた。「風景が見えるようなピアノ」と評されることが多く、作曲センスと柔らかいピアノタッチで多くのファンを魅了し続けている。

【愛川 聡さん】 ギタリスト・作曲家

15歳よりエレキギターを始め、青山学院大学卒業後にミュージック・カレッジ MESAR HAUS に進学。JAZZ&Latinの演奏家として、日本各地や海外でもライブ活動や、様々なアーティストのサポート活動を展開。また、二胡・アコーディオン・篠笛・和太鼓など伝統楽器とのコラボレーションも積極的に行う。自身の楽曲がFM仙台はじめ、多くのメディアでも使用されるなど、活動内容は多岐に渡る。

お問い合わせ、お申込みは……

TEL. & FAX. 「茨木のり子六月の会」事務局

0235-22-7297（戸村）まで

